

# 感染症発生状況

令和元年 11 月 15 日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年11月5日（火）～11月8日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,635名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】276名 【職員】0名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】69名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数67名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：**熱（145名）**，咳・鼻水（52名），下痢・腹痛（34名），嘔気・嘔吐（12名）

疾病別：**手足口病（12名）**，ヘルパンギーナ（7名），溶連菌感染症（5名），気管支炎・肺炎（3名）

【職員】なし

**夏型感染症（ヘルパンギーナ・手足口病）と冬型感染症（溶連菌感染・インフルエンザ）が少しずつの頻度で流行しています。**

**インフルエンザワクチンを早めに受けましょう。「受けていて良かったワクチン」を感じるようになることが望ましいです。（流行しても罹患しない状況となります。）**

## 【症状別の発生状況】

**手足口病** 厨川地域で増加しました。

**ヘルパンギーナ** 厨川地域で減少。玉山，河北，都南地域で増加しました。

**溶連菌感染症** 厨川，河北地域で減少。盛南地域で増加しました。

**気管支炎・肺炎** 河北地域で増加しました。

## 【県の状況（10/28～11/3）】

溶連菌咽頭炎は、前週より増加し、盛岡市で警報値（定点当たり患者数8人）を超えました。本疾患は、発熱や咽頭痛を主症状とする細菌感染症です。予防には、手洗いとうがいの励行、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

感染性胃腸炎は、3週続けて増加しました。ウイルス性胃腸炎の集団感染が保育所等で2件発生しました。

集団生活を営む施設では感染防止対策の再確認が必要です。患者の吐物や便は、塩素系薬剤を用いて適切に処理することが重要です。

インフルエンザは、県央や二戸地区で報告が多くなっています。今年は例年よりも早く流行入りしているため、早めのワクチン接種が勧められます。症状がある場合は、マスクを着用のうえ、早めの受診を。

台風の被災地では、がれきや泥の撤去時に破傷風等の感染症に罹患しないよう、丈夫な手袋や厚底の靴、マスクやゴーグルを着用することが重要です。また、作業後は石けんと流水による手洗いを徹底してください。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】